

製品名: リン酸化ヒストン H3(S10)ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe83712

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	15 kDa

抗原情報

遺伝子名	Phospho-HistoneH3(S10)
別名	H3 histone, family 3A; H3 histone, family 3B (H3.3B); H3.3A; H3.3B; H33; H3F3; H3F3A; H3F3B; Histone H3.3;;p-Histone H3 (S11)
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P68431
免疫原	ヒトヒストン H3.1 の S11 リン酸化部位周辺から合成したペプチド

背景

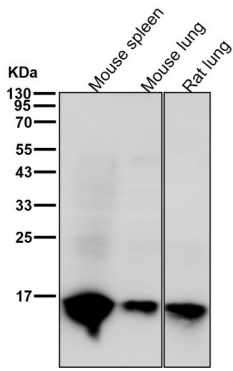
ヌクレオソームの中核構成要素。ヌクレオソームはDNAをクロマチンに包み込み、DNAを鋳型として利用する細胞機構へのDNAのアクセスを制限します。そのため、ヒストンは転写制御、DNA修復、DNA複製、そして染色体の安定性において中心的な役割を果たします。DNAへのアクセスは、ヒストンの複雑な翻訳後修飾（ヒストンコードとも呼ばれます）とヌクレオソームリモデリングによって制御されています。

研究分野

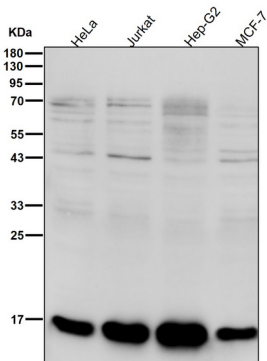
-

画像データ

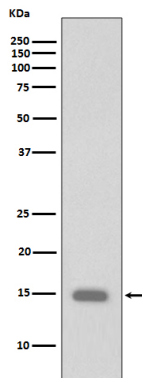
すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。

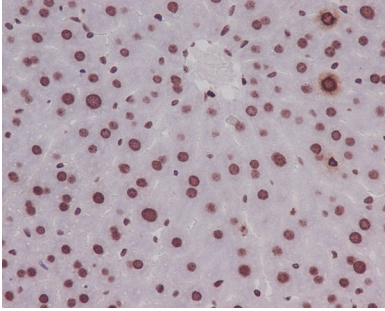


すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。



カリキュリン A 処理した HeLa 細胞溶解物におけるリン酸化ヒストン H3 (S10) 発現のウェスタンブロット分析。





リン酸化ヒストン H3 (S10) 抗体を使用したパラフィン包埋マウス肝臓の免疫組織化学分析。